

1 【解き方】 1. a. 「方向」のこと。b. 仕事をする事。

2. 助詞以外の「を」は「お」にする。

3. 「月孤峯の影を倒し」とある。月が、山の影をつくるほど光を照らす様子を表現している。

4. 夜に作業をしていることから考える。「いとひて」は、嫌って避けることを意味する。

5. 「なめり」は、「～であるように見える」「～であるらしい」という推量の意味を表す。「をのこ」が夜に作業をしている理由について、筆者が推量していることをおさえる。

6. (1) 切れ字には「や・かな・けり・ぞ・よ」などがあり、深くしみじみとした感動を表現する。(2) 月と兎の関係に着目する。

【答】 1. a. 方 b. 営(む) 2. (右図) 3. ウ 4. エ 5. ア 6. (1) 哉 (2) 月の美しい夜に麦をつく  
く宇兵衛の様子を見て、月で兎が餅をつく情景を思い浮かべたから。(同意可)

を
お
の
こ

◀口語訳▶ 出羽の国から陸奥のほうへ行くと、山の中で日が暮れたので、ようやく九十九袋という里にたどり着き、宿を求めた。そこでは夜通しごとごとと物音が響いていたので、不思議に思って外へ出ると、古い寺の庭で、年をとった男が麦をついでいるのであった。私もそのあたりをぶらりと歩いていると、月は一つそびえ立っている峰の影をつくり、風は竹林のたくさんの竹を吹きぬけて、月の美しいさわやかな夜の情景は言い表しようがない。この男は、昼の暑さを避けて、このように(心地よい夜の時間に)仕事をしているのだろうと。そのうちに私がそばに寄って、名前を何というのかと尋ねると、(男は)宇兵衛と答える。

涼しさで、月の美しい夜に麦をつく宇兵衛は、月で餅をつく兎の卯兵衛のようだなあ